

# 県内経済とくらしむき

## 長崎県県民生活部統計課

### 〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 2月

平成31年2月1日の推計人口 1,336,341人  
世帯数 560,754世帯  
参考：H27.10.1現在国勢調査総人口：1,377,187人、  
世帯数：560,720世帯

#### 1 推計人口

平成31年2月1日現在の推計人口は、1,336,341人で、前月(1,337,662)に比べ1,321人の減少となった。

市部では、大村市(31)の1市で増加し、長崎市(415)、佐世保市(351)、諫早市(102)、南島原市(53)、西海市(51)、松浦市(49)、対馬市(48)、平戸市(44)、五島市(43)、壱岐市(38)、島原市(34)、雲仙市(23)の12市で減少した。

郡部において佐々町(35)の1町で増加し、長与町(51)、新上五島町(29)、時津町(28)、小値賀町(10)、川棚町(8)、東彼杵町(8)、波佐見町(2)の7町で減少した。

自然動態は、出生数925人、死亡数1,875人で950人の減少、社会動態は、転入者数2,529人(県内転入を含む)、転出者数2,900人(県内転出を含む)で、371人の減少となった。

#### 2 世帯数

平成31年2月1日現在の世帯数は、560,754世帯で前月(561,220)に比べ466世帯の減少となった。

(注)

異動人口推計 = H27国勢調査確定数 + 住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

### 【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】… 12月

1人あたり現金給与総額 528,733円  
対前月比 78.1%増加  
対前年同月比 7.1%減少

#### 1 賃金

12月の常用労働者1人当たりの賃金をみみると、現金給与総額528,733円で、前月に比べ78.1%増加し、前年同月に比べ7.1%減少した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は248,038円で、前月に比べ0.9%増加し、前年同月に比べ0.6%減少した。

特別給与額は280,695円で、前年同月に比べ、39,093円減少した。

#### 2 労働時間

12月の常用労働者1人当たりの労働時間をみみると、総実労働時間は150.4時間で、前月に比べ3.9%減少し、前年同月に比べ5.4%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は138.4時間で前月に比べ4.4%減少し、前年同月と比べ4.7%減少した。

所定外労働時間数は12.0時間で、前月に比べ2.6%増加し、前年同月に比べ11.8%減少した。

#### 3 雇用

12月の常用労働者数は225,487人で、前月に比べ0.3%増加し、前年同月に比べ2.0%減少した。

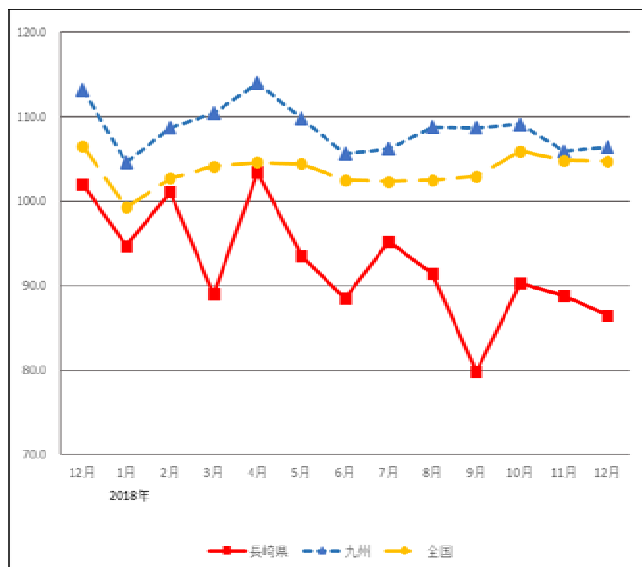
### 【鉱工業生産指数】…………… 12月

平成30年12月の鉱工業生産指数

(平成27年=100、九州は速報値)

区分	季節調整指数		原指数	前年同月比(%)
		前月比(%)		
長崎県	86.5	2.6	82.7	19.5
九州	106.4	0.7	109.2	3.0
全国	104.7	0.1	104.7	1.9

鉱工業生産指数の推移【季節調整済指数】



平成30年12月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が86.5で前月比は2.6%の減、原指数は82.7で、対前年同月比は19.5%の減となった。

業種別にみると、電気機械工業、電子部品・デバイス工業、繊維工業など7業種が上昇し、はん用・生産用機械工業、輸送機械工業、窯業・土石製品工業など5業種が低下した。

主な上昇業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇に寄与した主な品目
電気機械工業	35.8	11.4	交流発電機
電子部品・デバイス工業	10.4	5.2	半導体集積回路
繊維工業	4.0	5.4	織物製外衣

主な低下業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	低下に寄与した主な品目
はん用・生産用機械工業	25.8	70.2	蒸気タービンの部品・付属品
輸送機械工業	19.2	18.7	修繕船
窯業・土石製品工業	6.2	3.6	生コンクリート

(注) 前月比は季節調整済指数の対前月増減率、前年同月比は原指数の対前年同月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】	1月
総合指数(H27=100)	103.1
対前月比 (%)	0.1
対前年同月比 (%)	1.3

平成31年1月の長崎市の消費者物価総合指数は、平成27年を100として、103.1である。

前月比は、0.1%の下落で、主な上昇要因は「食料」の+0.4%、「光熱・水道」の+0.2%であり、主な下落要因は「被服及び履物」の2.4%、「交通・通信」の0.5%である。

前年同月比は、平成30年10月は+2.4%、11月は+2.2%、12月は+1.9%と推移した後、平成31年1月は1.3%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は102.9であり、前月比0.2%、前年同月比は+1.8%であった。

(前月との比較)

上昇した費目

食料	0.4%
光熱・水道	0.2%
家具・家事用品	0.4%
保健医療	0.4%

下落した費目

住居	0.1%
被服及び履物	2.4%
交通・通信	0.5%
教養娯楽	0.4%
諸雑費	0.1%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】…… 1月

消費支出(一世帯当たり) 330,871円  
前月比 20,987円増(6.8%増)

平成31年1月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は330,871円で、前月比6.8%の増。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は96.9%であった。

主な支出内容	支出額(円)	対前月増減率(%)
食料	63,559	27.3
住居	11,657	37.7
光熱・水道	27,051	33.2
交通・通信	85,714	63.1
教養娯楽	20,807	30.7

(注) この調査は全国調査のため、長崎市における調査世帯数が少なく、結果が大きく変動することがあります。

「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。